

国産食肉等の競争力強化に向けた生産面での取組強化

【強い農業づくり交付金 244（249）億円の内数】

【未来志向型技術革新対策事業 34（48）億円の内数】

対策のポイント

食肉等について、処理・流通コストの削減及び高度な衛生管理による品質向上を図ることにより、低コストで衛生的な食肉等の供給体制を確立します。

（現 状）

- ・ 食肉等の国内生産量（平成19年度）
牛肉36万トン 豚肉87万トン 鶏肉137万トン 鶏卵259万トン
- ・ 食肉等の輸出量（平成19年度）
牛肉345トン 豚肉104トン 鶏肉6,675トン 鶏卵281トン

政策目標

国産食肉等の産地競争力の強化と輸出の促進

<内容>

1. 地方の自主性・裁量性を高めた交付金による支援

食肉等流通体制強化のための施設整備を推進します。

- ① 基幹的産地食肉センター及び食鳥処理施設における処理の効率化、品質の向上、機能の向上・改善等のための施設整備
- ② 家畜取引における近代化・合理化及び環境・衛生対策等のための施設整備
- ③ 鶏卵処理施設における処理の効率化、品質の向上、機能の向上・改善等のための施設整備

強い農業づくり交付金 24,416（24,914）百万円の内数
補助率：定額
事業実施主体：農業者団体、民間団体等

2. 食肉等の輸出に向けた施設整備に対する優先的な支援

「強い農業づくり交付金」の中に「輸出促進特別枠」を設定することにより、牛肉等の高品質な国産食肉を新たに海外に輸出するために必要な産地食肉センター等の整備について優先的に支援します。

強い農業づくり交付金 24,416（24,914）百万円のうち、
輸出促進特別枠 2,500（2,500）百万円の内数
補助率：定額
事業実施主体：農業者団体、民間団体等

3. 産地における技術革新に向けた取組の促進と波及

食肉等の処理・流通段階における最先端技術の導入等全国的・広域的なモデルに成り得る革新的な取組を支援します。

- ① 国産食肉の広域的な集出荷・加工の拠点となる先進的で高度な衛生管理機能を備えた基幹的産地食肉センター及び食鳥処理施設
- ② 家畜市場の再編整備等による家畜取引の近代化・合理化のための施設整備
- ③ 鶏卵の集出荷・処理加工の拠点となる先進的で高度な衛生管理機能を備えた鶏卵処理施設

〔 未来志向型技術革新対策事業 3, 396 (4, 793) 百万円の内数
補助率：1／2 以内等
事業実施主体：農業者団体、民間団体等 〕

[担当課：生産局畜産部食肉鶏卵課（03－3501－3776（直））]